



前進

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎カンボジア学校建設募金贈呈式

カンボジア学校建設運動に係る取組として、今年度からチャリティバザーを再開しました。チャリティバザーを実施する際は、保護者の皆様にも多くの御協力をいただきました。1月31日（水）には、竹崎芦北町町長、岩田芦北町教育長等に来校いただき、多目的ホールで、募金贈呈式を実施しました。

竹崎町長は、芦北町が令和2年7月豪雨災害で被災した際、多くの方々から助けてもらったことを例に挙げられ「皆さんも誰かを助けられる人に成長してください」と話されました。

カンボジアに学校をつくろう運動を佐敷小学校がスタートしたのは平成9年3月です。最初は児童会主催の募金運動から始め、チャリティバザーに受け継がれ、今年で27年目になります。これだけ長い取組ができている理由は、子供たち自身が、自分たちができる国際貢献として取組の意義を実感できているからだと思います。本校の大切な伝統の一つになっています。



◎持久走大会、皆頑張っています。

3学期に入って始めた持久走の練習。朝からのランランタイムもあり、ここ数年の運動不足を吹き払うかのようにランニングに取り組んでいます。

今週は6年生を皮切りに持久走大会を実施しました。（写真は6年生持久走大会の様子です。）多くの保護者の応援をもらいながら、子供たちは全力で走っていました。



順位が上位だった子も、予想タイムに近かった子も、タイムを大幅に縮めた子も、みんな素晴らしかったと思います。頑張る友だちをしっかり応援する姿も見られ、心温まる場面も多くありました。

◎英語教育研究発表会を開催しました。

1月26日（金）に令和4・5年度芦北町教育委員会指定英語教育研究発表会を本校で開催しました。公開授業は4年2組と5年1組で、芦北町内を中心に多くの先生方の参観がありました。2つのクラスとも子供たちが意欲的に学習に取り組んでいて、大会に参加された先生方からも「参考になった。」という声を多くもらいました。

2年間研究に取り組んできましたが、学習内容が高度化する高学年になると、外国語への苦手意識を持つ子供たちが増えてくるという課題も見られます。課題解決に向けて、今後も充実した授業を行っていこうと思います。



◎佐敷中学校生徒による読み聞かせ

1月31日（水）には中学生による読み聞かせを実施しました。「青い鳥」の皆様が中学校でも読み聞かせの練習をさせていただいたとのことで、一生懸命読んでくれる中学生の姿がとても頼もしく思えました。本校の子供たちも食い入るように話を聞いており、様子を見ておられた方からは「聞き方が良いですね。」とお褒めの言葉をいただきました。中学生の姿を見て「自分も中学生になったら佐敷小で読み聞かせをしたい。」と考える子供たちがいたら嬉しいなあと思います。



【校長室から】2月2日の全校集会で、今年7月から発行される新紙幣に肖像としてデザインされる3人の人物（渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎）について話をしました。北里柴三郎は熊本県出身であることを話した後で、3人に共通するものとして「大学をつくった」と説明しました。明治時代の社会の発展に貢献した3人は、若者への教育がこれからの社会を創っていく源になることを理解していたのだと思います。子供たちには、「君たちが学ぶことは、自分のためだけでなくこれからの社会を創ることにもつながります。」と話をしました。